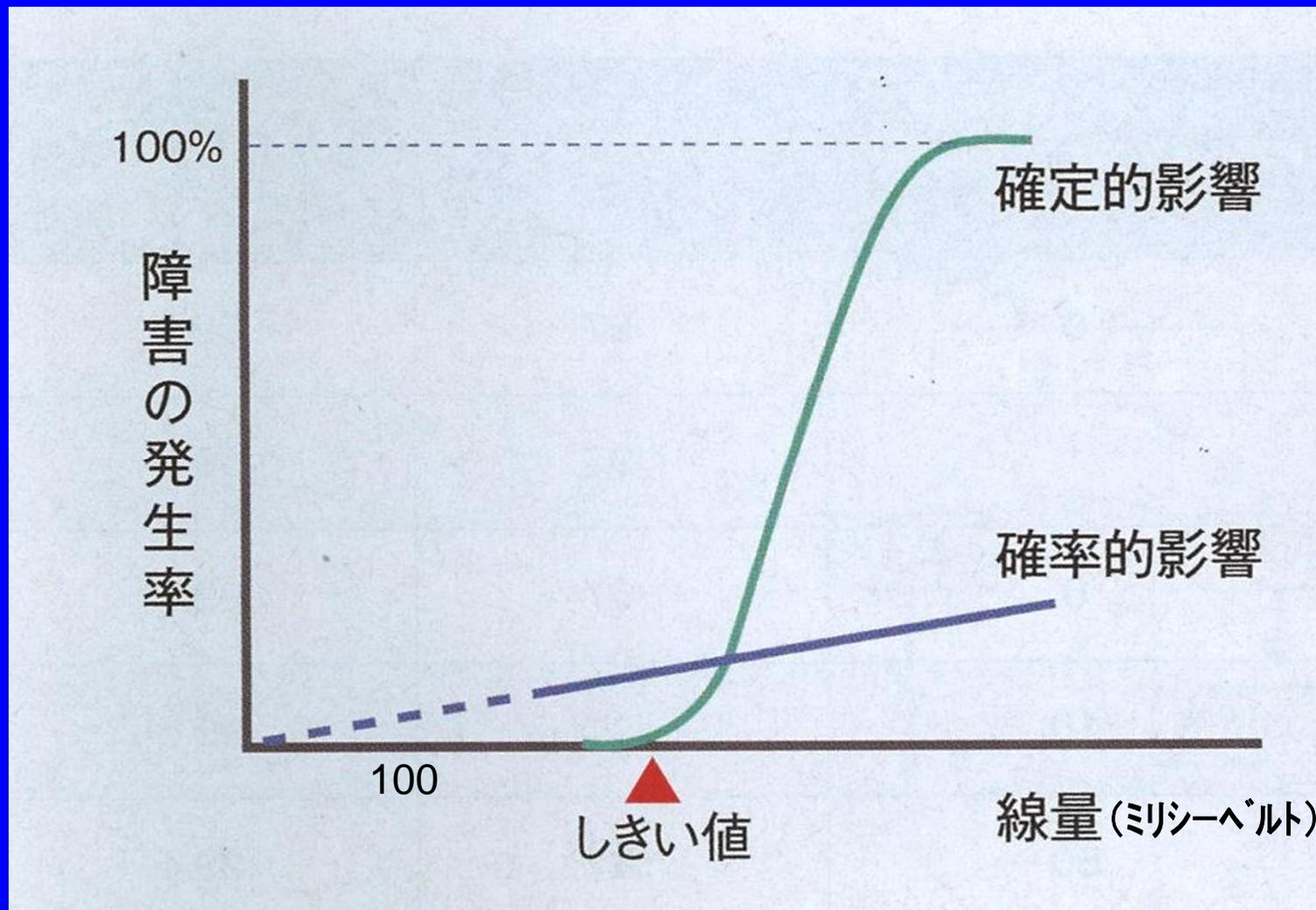


# 放射線の健康影響

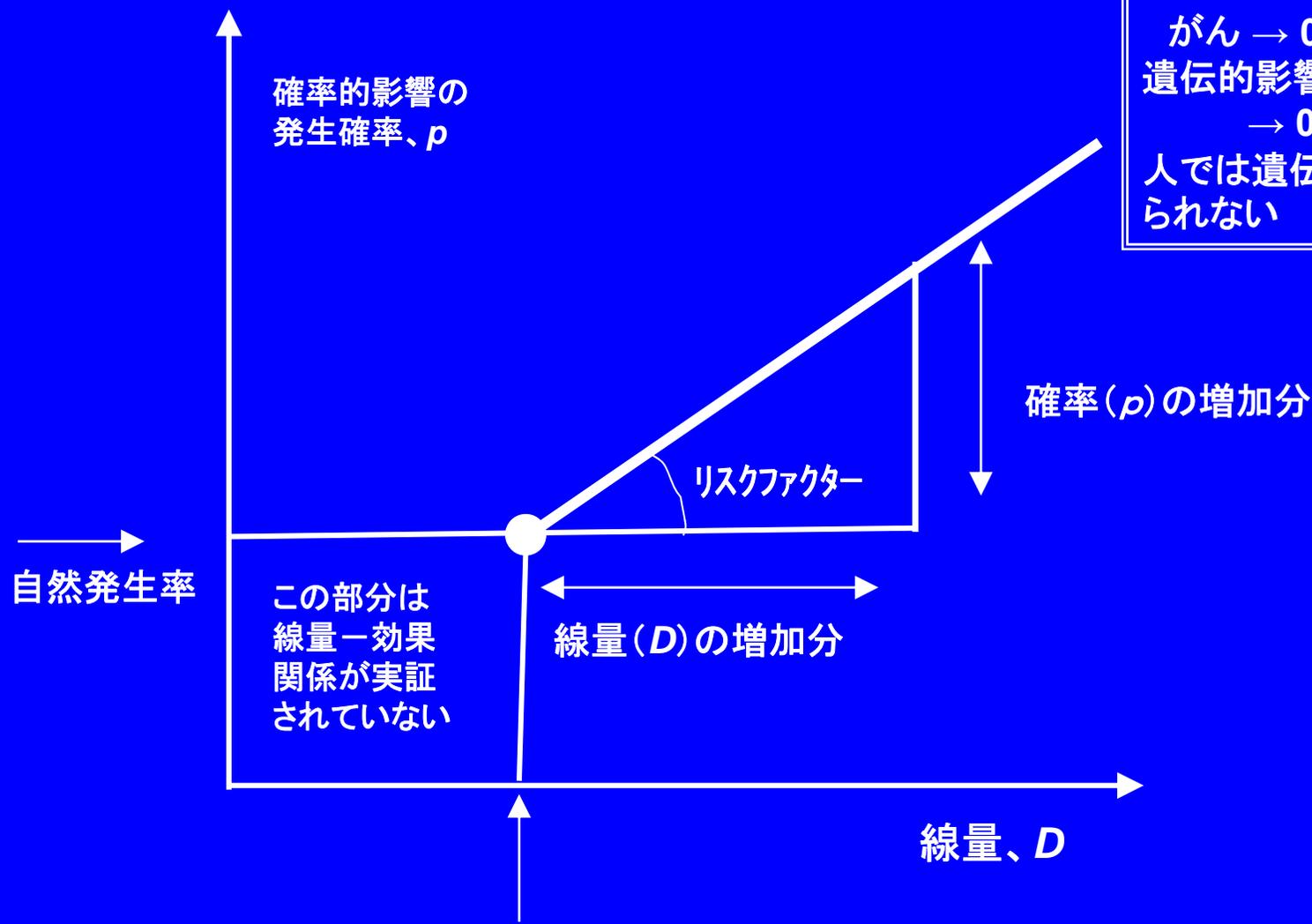
## 2つのタイプがある

1. 症状、徴候が現れる身体的障害(確定的影響)
  - ・1000ミリシーベルト以下では起こらない
  - ・症状ごとに「しきい線量」がある
2. 将来がんが発生する可能性(リスク)が高まる  
かもしれない影響(確率的影響)(晩発影響)
  - ・被ばく集団と非被ばく集団の比較で検知
  - ・被ばく者個人は認知できない
  - ・防護の目的で低線量(100ミリシーベルト以下)でも150mSv以上と同様に線量に比例してリスクが増加すると仮定 (しきい線量なし)

# 放射線影響の線量反応関係



# 直線しきい値なし(LNT)モデル



リスクファクター

- がん → 0.005%/mSv
- 遺伝的影響 → 0.0005%/mSv
- 人では遺伝的影響はみとめられない

自然放射線レベル [ 平均: 2.4mSv  
高レベル: 100mSv

# 放射線健康影響と研究手段

- ・ 低線量域の影響は疫学調査で証明困難
- ・ 生物学的機序解明に期待

